



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：四つのテスト
◆司会：高橋 昌之 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第2986回例会

令和5年7月24日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



私は1984年、山形でフォーラムを創業しましたが、10年後、1993年、日本にも外資系シネマコンプレックスが続々とオープンされる時代を迎えました。山形では米沢と三川にワーナー・マイカルが作られました。ワーナー・マイカルのシネコン

ができる、市内の映画館が全部潰れちゃうんですね。あまりにも設備が違いすぎるといって、圧倒的なお客さんの入りがもう段違いに起こってきて、既存館が立ち行かなくなっちゃうんですね。そういう時代の中で、福島にもワーナー・マイカルを作るといって、その時の福島の興行組合の理事長が、会津の吉川さんという方でした。その方が「とにかくお前を見捨てないから」と言ってくれました。

小さな業者は大きな大企業が進出すると潰れてしまうから、分野を調整するという法律があります。分野調整法、中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律、というものです。大企業の進出を制限してくれ、分野を調整してくれという訴えを起してくださいました。話し合いをして、だいたい収まりました。

会津の吉川理事長が、なんで一生懸命やってくれたのか。その方は、ロータリアンだったんです。自分の仲間を守るという考え方でやっていた。そのときの私は本当に助けられました。

昨日、クラブ奉仕セミナーというのが寒河江でありまして、そこで鈴木一作さんがクラブ奉仕の中で「会員がクラブ奉仕をするのか」「会員にクラブ奉仕をするのか」ということを話されて、両方あるんだと。「会員がする」のは当然だけれど、「会員にする」のもクラブ奉仕なんだと。これが一番大事なことで、特にクラブ奉仕については、クラブの指導者、特に会長が、クラブに対して奉仕するのが一番の仕事なんだということを実践していました。今まで何回かクラブセミナーに出ましたけれど、昨日は勉強させていただきました。

ロータリアンとしてはまだまだ私は未熟ですけど、何とかこの1年、皆さんのお役に立つように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 本日、米山奨学生のジョン・チャンビンさんが来ております。会長より奨学金の贈呈をお願いいたします。
- ジョン・チャンビンさんより一言／本日、奨学金をいただいたことに心からお礼申し上げます。最近私は「やまがた留学アンバサダー」として任命されました。アンバサダーの目的としては、山形県の魅力や、学校、留学生生活を国内外へ発信することで、山形県の認知度を高め、より多くの方々に留学先として本県を選んでもらうことです。私自身も美しい自然や豊かな文化を持っている山形県の魅力にひかれて留学を選びました。この奨学金は、山形県での留学生生活をさらに充実させるために大切に使いたいと思います。ありがとうございました。
- 本日例会終了後、理事・委員長での写真撮影をおこないます。関係者の皆さま、よろしくお祈りいたします。

ニコニコBOX

〈7月24日〉

長澤裕二会長／伊藤三之ガバナーをお迎えしました

本日は伊藤三之ガバナーの公式訪問例会です。吉田ガバナー補佐、小野地区幹事、青山副幹事、三浦副幹事の5名をお迎えしての公式訪問例会です。ようこそいらっしゃいました。

細谷伸夫さん／伊藤三之ガバナーをお迎えして

伊藤ガバナーには当クラブにおいてくださり感謝いたします。伊藤年度が当クラブ2800地区を中核的価値観のもと元気にしてくれるように強く希望いたします。ご活躍ください。

武田周治さん／ガバナーとして大変な職務ご苦労さまです。ロータリーの好意と友情を大切に1年となるよう祈念します。健康に留意され、ご活躍ください。

市村清勝さん／伊藤三之ガバナー、吉田義尚ガバナー補佐、小野和行地区幹事、熱烈歓迎です

本日は早々のガバナー公式訪問、ありがとうございます。楽しい公式訪問になると心待ちにしておりました。

東海林健登さん／伊藤ガバナー、訪問ありがとうございます。伊藤ガバナー、1年間健康に留意しガバナー活動を楽しんでください。

武田元裕さん／伊藤三之ガバナーようこそ

1年間、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



伊藤 三之 さん

〔国際ロータリー第2800地区ガバナー〕

ロータリークラブは1905年、アメリカで起こった運動で、118年の歴史があります。世界中に今120万人の会員がおりまして、日本では地区の代表をガバナーと言うわけですが、日本には34地区あります。世界では520地区あります。520地区で520人のガバナー、日本では34人で、いずれも1月8日から5、6日間ぐらいの日程で、今年はフロリダのオーランドに集められて、ホテルの外には1歩も出られない中で朝から晩まで研修、研修、研修、夕方からパーティというようなことの繰り返しで、ガバナーエレクトは研修を積んで7月からのガバナーに備えるということをやらせていただきました。

毎年その国際ロータリー、R I、Rotary Internationalであります。会長が決まって、会長さんがその年1年間のR I基本方針というのをを出します。ご存じのように昨年はジェニファーE・ジョーンズさん、女性の方でしたよね。本年度はゴードンR・マッキナリー会長、スコットランドの方であります。歯科口腔外科の先生で、その1年間の年度テーマは「CREATE HOPE IN THE WORLD 世界に希望を生み出そう」というテーマであります。これは非常に時代背景を捉えたテーマだと思っております。時代背景というのは2つあります。1つはコロナです。ここ3～4年の間に我々は少なくとも生きていた間にここまでの社会的状況が目の前で激変するという経験はまずありません。好きな時に好きな所に行って好きな人に会うこと自体ができないんです。その中で、個々人が分断されて、本当に鬱の症状を抱えているという方が多くいるんだ、出てきたんだということも言われております。そこからゴードンさんは、会長はメンタルヘルスの重要性というようなこともその方針の中に出てきます。

もう1つの時代背景は、ロシアによるウクライナの侵攻です。私たちはなんとなく戦争というものは非常に遠い世界のものであって、少なくとも今の時代の私には直接関係のない、それほど深刻に捉えるものではないというような、裏返して言えば、平和というのはごく当たり前のことなんだという認識でいたところが、そうじゃないんじゃないかと。相当工夫しないと平和というのは維持できない。上も、左も、右も、大丈夫なのかと。平和を維持できるのかというのは日本だけでなく世界中の多くの方々がそう認識したと思います。

この2つの時代背景のもとで、ゴードンさんはどうやったら我々の日常生活、社会生活、仲間内の関係に平和・安寧を取り戻せるのかということを考えて、こういうことを言っています。結論は、ロータリーはこれまでの歴史の中で常に時代の要請に応じてきたという自負を持つべきだ。例えばそこで一番念頭に置かれていることは、ポリオの撲滅運動であります。1980年に始まったポリオの根絶運動、ロータリーを挙げての運動は、当初、効果がすばらしく見えて、ポリオプラスという言葉が使われるようになりました。ポリオ、昔の言葉で言うと小児麻痺ですが、そのためのワクチン投与だけじゃなくて子どもの時代にかかる病気というのはほかにも5つほどあるんだと。百日咳だかジフテリア、破傷風等、ポリオだけでなく、こういう子ども

遠藤靖彦さん／伊藤ガバナー、吉田ガバナー補佐をお迎えて
伊藤三之ガバナー、吉田ガバナー補佐、ようこそ西ロータリーへ。お二方ともJC時代からのお付き合いをいただいております。ありがとうございます。今年1年もよろしく願っています。

五十嵐信さん／伊藤ガバナーを歓迎して
長年お付き合いいただいている伊藤君を歓迎してニコニコします。お話楽しみです。

鈴木浩司さん／伊藤ガバナーを歓迎して
伊藤三之ガバナー公式訪問を、1年間ご活躍を祈念してニコニコします。

半田稔さん／伊藤三之ガバナーをお迎えて
同業者であり同期のクラブ会長であった伊藤ガバナーを歓迎します。

芦野茂さん／伊藤ガバナー公式訪問、心より歓迎いたします
地区米山委員会には大変お世話になっております。次回セミナーは朝から山寺に登りますので、体調管理、今からよろしく願います。本日の訪問を大変心待ちにしております。今年度もよろしく願っています。

小野和行幹事／今年1年、当クラブ選出の伊藤三之ガバナーをどうぞよろしく願います

吉田義尚ガバナー補佐／ガバナー公式訪問に参加できたことに感謝してニコニコします。

伊藤三之ガバナー／1年間よろしく願っています。

三沢大介さん／親睦・家族委員会の皆さまお疲れさまでした。7月10日のビアパーティは、バドガール、ホッピー娘、フラダンスと盛りだくさんでとても楽しませていただきました。後藤委員長、親睦・家族委員会の皆さま、ありがとうございます。

富田浩志さん／感謝
1150年以上の歴史ある日本最古の祭りである京都祇園祭前祭さきまつりがおこなわれました。山鉦巡行やまかねに、とみひろが関係する山伏山が2番手で無事にその大役を果たしました。感謝申し上げます。

酒巻雅樹さん／カレーパングランプリ金賞受賞
2023年カレーパングランプリで2年連続で金賞を受賞いたしました。本命の蔵王牛カレーパンは残念ながら本選出場したものの金賞までは届きませんでしたが、伏兵のナンカレーが金賞を受賞。社員一同喜んでおります。皆さま方のご愛顧に感謝し、カレーパン39円引きのサンキューセールを開催しておりますのでぜひお立ち寄りください。

渡辺隆博さん／山形北ロータリー様、屋台村貸し切りありがとうございます

伊藤ガバナー、小野様、山形北ロータリー様、今年もビアパーティ、屋台村貸し切りありがとうございます。2年連続で開催いただき店主も喜んでおります。私も27日楽しみにしております。開催を祝してニコニコいたします。

親睦・家族委員会の皆さん／ビアパーティの御礼
先日のビアパーティに多くの皆さまよりご参加いただき誠にありがとうございます。至らない点が多々ありましたが、何とか終了することができました。委員会一同感謝申し上げます。

角田健さん／親睦・家族委員会の皆さまありがとうございます
7月10日のビアパーティでは親睦・家族委員会の皆さまに大変楽しませていただきありがとうございました。また、当日急遽アドバール様のお力をお借りしましてニコニコのお願いのご協力をいただき、併せて御礼申し上げます。おかげさまでもちましてビアパーティの参加の皆さまから親睦・家族委員会の皆さまへのねぎらいを込めて合計5万500円のご奉仕を頂戴いたしました。ご報告かたがたご奉仕いただきましたビアパーティ参加の皆さまにも御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

の間にかかる病気の撲滅にロータリーは寄与できるんじゃないかというのがポリオプラスという言葉です。

それが今は、単に病気の種類が増えたというだけじゃなくて、そういう疾病対策が必要だということ、そのためにはどうやってスタッフを組むのか、どういう対処方法、チームが組めるのか、どうやったら人は動いてくれるのか、どうやったら社会のほかの団体を巻き込むことができるのか、ポリオで培ったノウハウをほかの病気の対策に生かしていこうじゃないかと、それがロータリー活動じゃないかということで、現時点ではポリオプラスという言葉が使われているんですが、そういうポリオの成功体験があるでしょう？そういう時代の要請に我々は応えてきました。それ以外、日本にも東日本大震災の時の対処の仕方とか、いろんなノウハウ、レガシーがあります。それを踏まえて今何ができるのか、ロータリーは社会の中の日々の生活の中が一番身近な家族やお仕事の仲間とか、その他の社会の中での人間的なつながりに一番根差した団体が1個1個のロータリー活動に希望を見出すことによって、結果的には社会全体の平穏な生活、すなわち平和というのを取り戻すことができるんじゃないかというのが会長の考えです。

これは今まで見たことも聞いたことも発想したこともないような、何か平和をどこかに行って掴んでくるという意味じゃないんです。我々の日々のロータリー活動のやっていることの意味、事業の意味をもう1回よく考えてみることで、それをブラッシュアップすることで、ロータリー活動を結果的に活性化することで社会全体の活性化をもたらす、先ほどから言っているような全体の平穏、安寧、平和というのを見出すことができるんじゃないか。ロータリー活動1個1個に意味を与え、希望を見つけようというのが核心です。

だから私はそのための手法、手段として何があるかということから、「ロータリーを語ろう、そしてロータリーを楽しもう」という基本方針を立てました。すなわち、1個1個のありふれたロータリー活動の1個1個が、それは崇高な社会奉仕活動や崇高な哲学を語るような「なんとか奉仕とは」という、そういうことじゃないところの1個1個のロータリー活動を少しでも磨いていけば、おもしろい。そこに「なるほどね」ということで深みも出てくるんじゃないかというような気がしているんです。ロータリーのことをもうちょっと知ると、もうちょっと楽しめるよね、というくらいの意味なんです。

その中で、根本的にはロータリーというのは何のためにやっているのかというようなことなんですけれども、そんな難しい話ではないだろうと。我々は世に生まれてきて、一生懸命仕事をして、自分の愛する家族や信頼している会社の社員を路頭に迷わせないためにみんな一生懸命仕事します。あんなバグが欲しいとか、こんな車に乗ってみたいとか、いろいろあるでしょう。しかし我々は生きていて、それだけではなんとなく心もとない。どこかもっと自分の人生を豊かなものとして実感するにはどうするかということを考えてたりするんだと思うんです。これは我々だけじゃなくて世界中の人間が、そして歴史の中でどの時代の人もそう考えたはずなんです。そうなった時に、人は世のため人のために何ができるのかということを考えてみようということをキーワードにしてできた団体がこのロータリーという団体です。そんな難しいことではなくて、人のため、世のために何ができるのかを考えて自分の人生を全うしたほうが、実は人に奉仕しているようでいて一番満足感、幸福感を得られるのは自分であるに違いないという、つまり利他、他を利する生き方が自分の幸せであり人間の生きる意味であるということだけなんですよね。ロータリーの核心で言っていることは。

そういった中で長澤会長のお話にありました、昨日クラブ奉仕セミナーというのがあって、クラブ奉仕とはなんぞや、と。考えてみればクラブ奉仕というのはよくわからない。社会奉仕や職業奉仕はわかりやすいかどうかは別として、国際奉仕、青少年(奉仕:補足)もわかりやすい。クラブ奉仕とはなんぞや。クラブ奉仕とは、私の基本方針の中にも書いてありますが、要するにこのロータリーの中においでいるんなことを語ったり経験したりして、自己研鑽を図る。そして奉仕の心、ロータリーの核心、思いというのは何なのかを学ぶ。これがクラブ奉仕であります。このクラブ奉仕をもって培った奉仕の心、ロータリーの灯を外で職業奉仕として発揮したり、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などとして発揮することがロータリー活動なんだ、というだけの話なんです、このクラブのうちで自己研鑽して奉仕の心を学ぶということ、じゃあどう定義づけるのかと。今の標準ロータリークラブ定款の条文のクラブ奉仕というのは非常にわかりづらい日本語に訳されていますが、合っているのか。言葉としてね。というような昨日のセミナーだったんです。

西ロータリークラブの今年度の方針の1つ、新会員、5年未満の会員を積極的に委員長に登用してやってもらうというのは素晴らしいアイデアです。やっぱり誰もがこの団体に所属したかぎりは、どこかに自分の居場所がないとなかなかやりづらい。実は退会する7割の方が入会5年以内の方。3割の方が入会2年以内の方なんです。そこを意識的にそういう方々を積極的に取り込んで居場所を作ってあげる、目に見える形の居場所を作ってあげるという配慮をすればだいぶ違うんだらうと。それをきっちり長澤会長は踏まえていらっしゃると思います。

それと、西ロータリーのもう1つの事業が、アオモリトドマツの再生はどうやったら実現できるのかと。私は素晴らしいと思うのは、アオモリトドマツの問題は何が原因で対処方法は何かあってというのは、私はわからないんです。今年2月18日の第5グループのIMで話された内容ぐらいいで、「ああ、そうなのか」と思っただけなんです。すごいのはアオモリトドマツの話そのものじゃなくて、自分のクラブが担当したIMで取り上げた題材、ちゃんと宣言もしていただきましたが、それをちゃんと年度ごとの事業に落とし込んでいることが素晴らしいと思うんです。アオモリトドマツ対策に私が妙案があるわけでもなく、ただ、これはできればやっぱり西ロータリーさんに起爆剤となっていて、長年の間には地区のロータリー全体で取り組む。場合によっては日本国内、世界中のグローバル補助金を使っただけの事業に、なんていうことになればすごいことだなというふうには私は今日思いました。

今年の地区大会は11月11日、12日の土日で、土曜日の会合は会長・幹事さんとか地区関係者140～150人の会合ですからあれなんです、皆さまには基本的には日曜日、やまぎんホールで地区大会、懇親会で3つの約束を私は北ロータリーのスタッフには話しています。懇親会の3つの約束のうちの1つは、挨拶は私、乾杯は私、開会してから3分以内に乾杯します。懇親会の初めにいろんな役職の人が同じようなことをしゃべってね、そこからさらに余興みたいになって、乾杯まで30分40分かかるといのはね、ストレスなんですよ。

そして2つ目の約束は、山形の場合で言えばですよ、遠方から来る人たちはマイクロバスまたは仲間内の車を3～4台で来て、泊まらずに帰る方もいるわけで、「6時から始まるから6時45分にホテルの裏側に集合で」と、こうなるわけ。その時間になったら帰っちゃうんですよ。ということは、乾杯まで30分、40分かかったら、始まって5分10分したらダージョと食べるものだけ食って、はい飲む、

はい、んじゃ行くぞ、となる。だからだいたい滞在時間が1時間弱だろうなということを見越して、1時間以内の宴会で満足できる企画、演出、料理、酒がポイントなんだろうなというのが2つ目の約束です。

3つ目、県内の第1グループ、酒田。第2、鶴岡。第3が新庄からずーっと天童まで。第4が寒河江中心。第5は山形中心。第6はそれより南なんですけど、すべての地区でロータリアンがオーナーである、ロータリー関係の酒蔵が13蔵あるんです。私は地区大会の懇親会でその13蔵すべての酒蔵をお願いをして、演出用、宣伝用、菰樽と周りにその一升瓶を置いて、どういう酒で、どの地区の酒で、ロータリアンは誰なのかというのを明示してわかる形で日本酒を提供したいと思います。それこそが職業奉仕じゃないかと思うんですよ。我々がロータリアンとして鶴岡に行ったら、「鶴岡のロータリーの酒はこれだよな、じゃあ俺はあれを注文する」。山形に来た人が、「山形のロータリアン誰なの？ 男山さんと秀鳳さん、じゃあ秀鳳お願いします」と言えるようになる。それがロータリーの職業奉仕の1つの形ではないかと思うところがあるものですから、これが懇親会の約束の3つ目なんです。

くだらない約束で申し訳ないんだけど、こういうふうにしてできれば1個ずつの活動そのものに、意味を考え、ロータリーをそこで語り、企画を少しずつ研ぎ澄ましてブラッシュアップしていこうと、その結果として、クラブ、ロータリーそのものの活性化、社会の在り方とかいうものが出てくるんじゃないかという思いがあります。

最後ですが、実は先ほど会長・幹事会で、米山は非常に理解があるから金を集めやすいんだよと。ところが財団が

なかなか集まらないのよ、という会話がありました。一番下にポリオ根絶とポリオプラス、ポリオプラスの意味は先ほど申し上げましたが、世界ポリオデーというのが10月24日なのですが、でもその前後くらいで少しポリオ、財団、寄付、そのためにロータリーは何ができるかを考えてみよう、私は何をするかと思って、10月に7ロータリーのゴルフコンペがあるんですよ。なので私は、2番目の打ち下ろしのホールのところ「ポリオ撲滅」というこういうジャンパーを着て「ポリオ撲滅よろしくお願いします。ワンオンしなかった方、懇親会の時寄付お願いします。ワンオンした方、2倍寄付お願いします」とやろうかなと思っておりますので、もしゴルフをされる方で当日私を見かけたら、そういうやつなんだなと思って笑ってやってください。

私は10月1日のロータリー奉仕デー、「それぞれの最上川物語」を地区一斉でやりたいと思っていますが、寒河江を中心とした第4グループは最上川清掃事業を10月1日の朝6時から7時まで、「ゆ〜チェリー」の裏のところの緑地公園の最上川でやる。第5グループは今の企画だと7時、8時くらいで中山でやると。あそこは地図で距離を測ったら3.1キロなんです。最上川で。結論は、私はそこをボートで下って第5グループの清掃会場に登場いたします。手配はしました。台風にならない限り、ボート2台で、ちゃんとプロの漕ぎ手付きですから、大丈夫です。映像スタッフが1台、そして私のボートです。見かけたらぜひ笑ってやってほしいというふうに思います。どうもありがとうございます。



本日出席 (7 / 24)	会員総数	出席会員数
	102名	75名